

平成23年10月18日

佐久間 総一郎

「規制・制度改革に関する分科会」の進め方及びテーマについて（意見）

- 進め方については、H23年10月3日付の分科会長のご提案に賛同する。
- 最優先課題への取組については、「日本経済の再生」と「エネルギー政策の再構築」が特に検討を要するとの観点から、テーマ選定にあたっては、それら政策実現の鍵となる技術の進歩と社会システムのタイムラグをより短くすること、必要な規制はタイムリーに導入すること等を、狙いとして重視すべき。そのため、イノベーション・研究開発や需要創設・喚起の足かせとなっている規制がないか、規制のタイミングに問題が無いかなど産業界・学会の声をひろく集め再点検することが必要。
- さらに、「エネルギー政策の再構築」を進めるにあたり、ベースとなる従来型の取組である循環型社会の形成の重要性を忘れてはならない。そのため、「資源の有効利用」や「効率的なリサイクル」の促進を妨げるなど企業による合理的な環境対策を阻害し無用な負担を課している規制や地球温暖化対策に逆行している規制の改革を図るべき。
- 個別案件のフォローアップも重要。これまでに集められた各規制・制度改革要望事項のうち、実現していないものについては、政治・官庁における意思決定プロセスに問題があるのか、そもそも要望内容に問題があるのか、それぞれの理由について分析・検証が必要。